

令和 3 年第 1 回定例会（2 月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
農林水産委員会
付託議案関係資料

（当初予算関係）

令和 3 年 2 月 1 0 日

農 林 水 産 部

目 次

○ 令和3年度農林水産部重点推進事項〔農林水産部〕	1
○ 予 算	
1 スマート農業推進関連事業 〔農林政策課・水田総合利用課・園芸振興課・農地整備課〕	3
2 地域農業を担う経営体発展支援事業〔農林政策課〕	5
3 農地中間管理総合対策事業〔農林政策課〕	7
4 6次産業化総合支援事業〔農業経済課〕	9
5 次世代あきたアグリヴィーナス応援事業〔農業経済課〕	11
6 農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事業（豪雪災害分） 〔農業経済課〕	13
7 農産物グローバルマーケティング推進事業〔農業経済課販売戦略室〕	15
8 県産農産物販売力強化支援事業〔農業経済課販売戦略室〕	17
9 日本型直接支払交付金事業〔農山村振興課・水田総合利用課〕	19
10 元気な中山間農業応援事業〔農山村振興課〕	21
11 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業〔農山村振興課〕	23
12 新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業〔水田総合利用課〕	25
13 次世代につなぐ水田農業総合対策事業〔水田総合利用課〕	26
14 （新）水田作付転換緊急推進事業〔水田総合利用課〕	29
15 秋田米をリードする新品種デビュー対策事業 〔水田総合利用課秋田米ブランド推進室〕	30

16	メガ団地等大規模園芸拠点育成事業〔園芸振興課〕	33
17	秋田のやさい総合推進事業〔園芸振興課〕	35
18	秋田牛ブランド確立推進事業〔畜産振興課〕	37
19	秋田牛生産総合対策事業〔畜産振興課〕	39
20	C S F 等緊急防疫対策事業〔畜産振興課〕	41
21	農業農村整備事業（公共）〔農山村振興課・農地整備課〕	43
22	秋田の漁業人材育成総合対策事業〔水産漁港課〕	44
23	未来につなぐ豊かな海づくり推進事業〔水産漁港課〕	46
24	ウッドファーストあきた推進事業〔林業木材産業課〕	48
25	非住宅分野における県産材需要拡大事業〔林業木材産業課〕	49
26	（新）あきた材販路拡大事業〔林業木材産業課〕	51
27	次代につなぐ再造林促進対策事業〔林業木材産業課〕	52
28	秋田県水と緑の森づくり税事業〔森林整備課〕	53
29	秋田スギ生産基盤づくり事業〔森林整備課〕	55
30	森林整備事業及び治山事業（公共）〔林業木材産業課・森林整備課〕	56

令和3年度農林水産部

これまでの実績

- ◆新規就業者の確保
- ◆大規模団地の増加
- ◆日本一の産地づくり
- ◆ほ場整備の進展
- ◆スギ製品出荷量
- ◆農業産出額の増加

[農業：7年連続で200人/年以上、林業：約140人/年、漁業：約10人/年]
[園芸メガ団地：(H28)10団地 → (R2)46団地]、[畜産団地：(H28)30団地 → (R2)49団地]
[えだまめ：(R1)年間出荷量で日本一、しいたけ：(R1)販売額、販売単価、販売量の三冠王]
[水田整備率：(H28)67.9% → (R1)69.8%、H29～R1の3年で2,487haを整備]
[(H28)591千㎡ → (R1)634千㎡]
[米以外の産出額：(H27)758億円 → (H30)807億円と増加し、過去20年間で最大]

1 人口減少時代における多様な担い手・労働力の確保

① 地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成

- ◆農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の促進
- ◆経営課題に対応した「経営顧問」の活用によるプロ農業経営体の育成
- ◆農業法人の連携や統合等による集落営農組織の再編推進

農業法人数

(R1)705経営体 → (R2)790経営体 → (R3)850経営体

② 多様なルートや幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成

- ◆移住就農をはじめとした就農相談体制の強化
- ◆実践研修やインターンシップなど研修制度の充実

農林漁業の新規就業者数

(R1)400人 → (R2)425人 → (R3)435人



2 複合型生産構造への転換に向けた取組のパワーアップ

① 大規模生産拠点の全県展開

- ◆園芸メガ団地や大規模畜産団地等の整備促進
- ◆営農開始後における生産技術指導や経営診断等によるフォローアップの強化

園芸メガ団地等の整備

(R2)46地区 → (R3)50地区

大規模畜産団地の整備

(R2)49地区 → (R3)50地区

② 日本一を目指す品目等による特色ある園芸産地づくり

- ◆えだまめ、ねぎ、しいたけ等の日本一を目指した園芸産地づくり

えだまめ年間出荷量

(R2)1,423t → (R3)2,100t

夏秋ねぎ出荷量(7～12月)

(R2)5,099t → (R3)7,300t

しいたけの販売三冠王

年間出荷量 (R1)2,241t → (R3)2,800t

③ 秋田米の生産・販売対策の強化

- ◆「サキホコレ」のプレデビュープロモーション
- ◆省力低コスト技術等による大規模稲作体系の確立

「サキホコレ」のプレデビュー

ロゴマークデザインの発表
先行販売イベント



④ スマート農業の導入の加速化

- ◆現場実装に向けた研究・指導体制の強化
- ◆スマート農業技術の導入支援、現地実証成果の横展開

⑤ 産地づくりとスマート農業を支える基盤整備の推進

- ◆スマート農業の普及拡大を見据えた農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化の推進



3 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

① 県産農畜産物のブランド化と実需者ニーズに対応した流通販売体制の構築

- ◆秋田牛や比内地鶏の家庭消費向けの拡大など県産農畜産物の販路の多元化の推進
- ◆女性農業者による農産加工等の起業活動の促進

② アフターコロナにおける国内外の需要の変化を見据えた販売ルートの開拓

- ◆県産農産物の認知度向上と首都圏等におけるマッチングの推進
- ◆果実の台湾輸出に向けた体制整備、秋田牛の台湾・タイへの輸出拡大、沖縄を拠点とした農畜産物のPR



りんご・ももの台湾輸出

(R4)本格輸出の実施

重点推進事項

推進方向

- 第3期プランの総仕上げとして、経営力の強化等による**トップランナーの育成**や、**大規模生産拠点の全県展開**など、**これまでの取組を一層強化**し、農林水産業の成長産業化を促進する。
- **スマート農業の導入の加速化**により、人口減少下でも生産力を維持・拡大できる体制の構築を図る。
- 県産材の需要開拓や生産流通体制の強化により**林業・木材産業の成長産業化**を進めるとともに、つくり育てる漁業の推進による**水産資源の維持**や、地域資源を生かした魅力ある里づくりによる**農山漁村の活性化**を図る。

4 林業・木材産業の成長産業化

① 木材の生産・流通体制の強化

- ◆ コストの低減による再造林の促進
- ◆ 林内路網など基盤整備の推進

低コスト再造林の促進

(R2) 190ha/年 → (R3) 205ha/年

② 県産材の新たな用途開拓による需要の拡大

- ◆ 畜舎など非住宅分野での県産材の利用拡大

③ 県産材の販路開拓

- ◆ 県内外の住宅や店舗等での県産材の利用促進

スギ製品出荷量

(R1) 634千㎡ → (R2) 688千㎡ → (R3) 706千㎡



④ 森林経営管理制度の円滑な推進

- ◆ 航空レーザ計測等の導入による森林情報のデジタル化

航空レーザ計測等の導入

(R3) 3市町、38,000ha



5 つくり育てる漁業の推進と水産業の振興

① つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大

- ◆ 種苗放流による水産資源の維持・増大
- ◆ 漁業所得の安定に向けた蓄養殖の推進



② 地魚の県内向け流通・販売体制の構築とブランド化

- ◆ 地魚PR活動による県産水産物の認知度向上と消費拡大
- ◆ 活け締め等による高品質商品のオンライン販売の促進

漁業者等のオンライン販売への取組

(R3) 3件

6 魅力ある農山漁村地域の活性化と防災・減災対策の推進

① 地域資源を活用した魅力ある里づくりと高収益作物の生産拠点整備

- ◆ 山菜や伝統野菜、伝統行事や祭りなど地域資源を生かした魅力ある里づくりの促進
- ◆ 農業体験や農泊など都市との交流活動の促進
- ◆ 中山間地域におけるオール秋田での園芸振興



② 国土強靱化と防災・減災対策の推進

- ◆ ため池特措法に対応した取組の推進
- ◆ 遠隔操作が可能なスマート田んぼダムの実証
- ◆ 山地災害の防止

ため池特措法への対応

県内の防災重点ため池1,180箇所 (R3) 劣化状況評価等120箇所、ハード対策25地区



1 スマート農業推進関連事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農 林 政 策 課
水田総合利用課
園 芸 振 興 課
農 地 整 備 課

スマート農業に関する試験研究や現地での実証普及に取り組むとともに、園芸生産等において実用段階にあるものについては、導入を支援するなど、スマート農業を総合的に推進する。

1 事業内容

【研究開発】

(1) スマート農業研究体制高度化事業（新規）

公設試験場にスマート農業担当を設置し、スマート農機等の導入効果や活用上の課題を明らかにする。

- ・ 実施内容 スマート農機等による新たな農作業体系の検討（水稻・りんご・牧草等）
導入効果や活用上の課題の検討、技術支援体制の構築

【現地実証、普及】

(2) スマート園芸加速化事業（拡充）

園芸品目の生産力向上や作業の省力化等を図るため、スマート園芸の取組を支援し、普及を推進する。

ア スマート農業普及推進事業（継続）

- ・ 実施内容 先端技術研修会の開催
スマート農業相談窓口の設置

イ 産地課題解決実証事業（継続）

- ・ 実証内容 秋田地区 高性能収穫機による収量・品質の向上（えだまめ）
山本地区 直進トラクターによる施肥溝掘り作業の省力化（ねぎ）
雄勝地区 環境モニタリングによる栽培管理の最適化（トルコギキョウ）
- ・ 補助率 定額

ウ スマート園芸普及加速化プロジェクト事業（新規）

- ・ 実施内容
鹿角、雄勝地区
A I 自動かん水施肥システム等のモデル展示ほの設置（トマト）
秋田、由利、平鹿地区
省力機械化一貫体系のモデル展示ほの設置（露地小ギク）

(3) 先端技術導入実証事業【次世代につなぐ水田農業総合対策事業】（継続）

省力低コスト技術とI C T農機等による大規模稲作体系の確立を図る。

- ・ 実証内容 由利地区 リモートセンシングと可変施肥技術による安定生産（水稻）
仙北地区 自動走行トラクター等による作業の省力化（水稻）

(4) スマート農業を支える基盤整備実証事業【経営体育成基盤整備事業】(継続)

基盤整備と一体的に導入するスマート技術の効果等を分析し、スマート農業に対応した基盤整備の基準等を検討する。

・ 実証内容

北秋田市高野尻地区

パイプラインにおける水管理システムや自動走行トラクター等におけるターン農道の検証

由利本荘市松ヶ崎地区

開水路における水管理システムや自動草刈機に適した畦畔法面の検証

横手市横手地区

自動走行トラクター等に適した1haを超える大区画ほ場の区画検証

【導入支援】

(5) 新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業(スマート農業技術導入支援枠)(拡充)

複合型経営を一層進め、収益性の高い農業経営体を育成するため、スマート農機等の導入を支援する。

・ 補助率 1/3以内(農外からの新規就農者は1/2以内)

2 事業主体

(2)のイ : 農業者及び普及組織等により構成される協議会

(5) : 認定農業者等

上記以外 : 県

3 予算額

73,062千円

国庫支出金	17,000千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	56,062千円

(1) : 3,743千円

報償費、旅費等	1,522千円
需用費	2,221千円

(2) : 7,436千円

報償費、旅費等	916千円
需用費	520千円
負担金補助及び交付金	6,000千円

(3) : 2,883千円

報償費、旅費等	883千円
負担金補助及び交付金	2,000千円

(4) : 9,000千円

委託料	9,000千円
-----	---------

(5) : 50,000千円

負担金補助及び交付金	50,000千円
------------	----------

4 事業年度

(1)、(5) : 令和3年度～

(2) : 令和元年度～

(3)、(4) : 令和2年度～

2 地域農業を担う経営体発展支援事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農林政策課

本県農業を牽引する認定農業者や集落営農組織等の担い手の安定的な経営発展を促進するため、経営改善の指導・助言を行うとともに、農業経営の法人化や経営継承を支援する。

1 事業内容

(1) 認定農業者等育成支援事業（継続）

認定農業者を確保し、作目別技術・経営指標を活用した経営管理能力の向上を図る。

- ・ 実施内容 認定農業者を対象とした経営改善セミナーの開催、「作目別技術・経営指標」の作成・配布

(2) 農業経営者総合サポート事業（継続）

担い手の安定的な経営発展を促進するため、農業経営の法人化や円滑な経営継承等を支援する。

ア 農業経営者サポート事業

- ・ 実施内容 農業経営相談所（事務局：（公社）秋田県農業公社）の設置、相談内容に応じた専門家派遣、経営相談会の開催

イ 農業経営法人化支援事業

- ・ 実施内容 集落営農や複数戸による法人設立に対する助成
- ・ 補助率 定額（25万円／1法人）

(3) 農業経営マネジメント力習得支援事業（拡充）

次代の本県農業を担うトップランナーを育成するため、農業法人等の経営力強化を図る。

ア 次世代農業経営者ビジネス塾

- ・ 実施内容 経営マネジメント等の座学、事業計画の策定演習、先進経営体の視察等

イ 先進的農業法人・民間企業派遣研修

- ・ 実施内容 経営者の経営ノウハウの習得

ウ プロ農業経営体育成支援事業

- ・ 実施内容 経営顧問による農業法人の経営改善活動の実施

(4) 集落営農構造再編ステップアップ事業（拡充）

集落型農業法人の経営体質強化や人材確保による次代への円滑な経営継承を図るため、法人間の連携・統合など構造再編の取組等を支援する。

ア 構造再編や経営継承に係る意識啓発・機運醸成

- ・ 実施内容 関係機関による連携推進会議・研修会の開催、集落での話し合いの推進

イ モデル地区の設置・支援

- ・ 実施内容 地域条件に応じたモデルの設置（5地区）、連携・統合等に向けた支援

ウ 法人経営専門員の設置

- ・ 実施内容 経営管理への指導助言、モデル地区における支援活動

(5) 農林水産フォーラム開催事業（継続）

地域のリーダーとして活躍する農林漁業者の成果を周知するとともに、相互の意識啓発を図る。

- ・ 実施内容 農林水産フォーラム、農業士認定証書授与式の開催等

2 事業主体

(1)、(3)：(一社) 秋田県農業会議、県

(2)：秋田県農業経営相談所、県

(4)、(5)：県

3 予算額

26,249千円

国庫支出金	14,293千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	10,510千円
諸収入	12千円
一般財源	1,434千円

(1)：1,434千円

旅費、需用費等	1,154千円
委託料	250千円
負担金補助及び交付金	30千円

(2)：14,293千円

旅費等	255千円
負担金補助及び交付金	14,038千円

(3)：3,429千円

報償費、旅費等	652千円
委託料	2,777千円

(4)：6,848千円

報酬	3,161千円
報償費、旅費等	3,687千円

(5)：245千円

報償費、旅費等	245千円
---------	-------

4 事業年度

平成14年度～

3 農地中間管理総合対策事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農林政策課

農業経営の規模拡大や農地の集積・集約化を促進するため、推進母体となる農地中間管理機構や市町村等の活動を支援する。

1 事業内容

(1) 農地中間管理事業

農地中間管理機構が行う農地の賃貸借等の推進に対して助成する。

- ・ 助成対象 農地の賃料、農地保全管理費等
- ・ 補助率 国7/10、県3/10

(2) 農地売買支援事業

農地中間管理機構が行う農地の売買の推進に対して助成する。

- ・ 助成対象 業務運営費、事業推進組織整備費等
- ・ 補助率 国6/10、県4/10

(3) 機構集積協力金交付事業

農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域及び個人に対して協力金を交付する。

ア 地域集積協力金

地域での話し合いに基づき、農地の一定割合以上を農地中間管理機構に貸し付けた「地域」に助成する。

(ア) 集積・集約化タイプ（担い手への農地集積・集約を促進）

＜交付要件＞ 対象農地のうち1割以上が新たに担い手に集積されること

機構の活用率※		交付単価
一般地域	中山間地域	
20%超40%以下	4%超15%以下	1.0万円/10a
40%超70%以下	15%超30%以下	1.6万円/10a
70%超	30%超50%以下	2.2万円/10a
	50%超	2.8万円/10a

※ 機構の活用率：当該年における地域の農地面積に占める機構への貸付割合

(イ) 集約化タイプ（担い手同士の耕作地の交換等による農地の集約を促進）

＜交付要件＞ 地域の農地面積に占める担い手の1ha以上の団地面積の割合が20%以上増加することなど

機構の活用率	交付単価
40%超70%以下	0.5万円/10a
70%超	1.0万円/10a

イ 経営転換協力金

土地利用型農業からの経営転換や高齢による離農などにより、農地中間管理機構に農地を貸し付けた「個人」に助成する。

＜交付要件＞ 農地を10年以上機構に貸し付けること

交付単価	上限額
1.5万円/10a	50万円/戸

(4) 経営継承・発展等支援事業

「人・農地プラン」の実質化に向けた取組を支援する。

- ・ 助成対象 人・農地プランの見直しを行うための活動に要する経費
- ・ 補助率 国10/10

(5) 大潟村方上地区農地利活用推進事業

大潟村方上地区の農地の利活用を推進するための経費を助成する。

- ・ 助成対象 自然環境調査
- ・ 補助率 県10/10

2 事業主体

(1) : 県、農地中間管理機構

(2) : 農地中間管理機構

(3) : 市町村

(4) : 県、市町村

(5) : (公社) 秋田県農業公社、県

3 予算額

830,458千円

国庫支出金	755,379千円
繰入金：農地中間管理事業等推進基金	33,672千円
諸収入	1,008千円
一般財源	40,399千円

(1) : 212,307千円

報酬、旅費等	3,333千円
負担金補助及び交付金	208,974千円

(2) : 15,260千円

負担金補助及び交付金	15,260千円
------------	----------

(3) : 599,250千円

負担金補助及び交付金	599,250千円
------------	-----------

(4) : 1,008千円

旅費、需用費	300千円
負担金補助及び交付金	708千円

(5) : 2,633千円

報償費、旅費等	191千円
負担金補助及び交付金	2,442千円

4 事業年度

平成26年度～

4 6次産業化総合支援事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農業経済課

農山漁村における所得や雇用の増大、地域活力の向上を図るため、経営の多角化や食品加工業等の異業種との連携を促進し、農林漁業者の6次産業化の取組を総合的に支援する。

1 事業内容

(1) 6次産業化サポート体制強化事業

関係機関・団体による協議会を開催し、6次産業化に係る情報交換を行うとともに、県農業公社にサポートセンターを設置し、専門家の派遣等による相談活動を行う。

ア 秋田県6次産業化推進協議会の開催

- ・ 実施内容 次期秋田県6次産業化推進戦略（令和4～7年度）の策定等

イ 6次産業化サポート事業

- ・ 実施内容 専門家（プランナー）の派遣による経営改善支援等

(2) 異業種連携促進活動推進事業

食と農の関係者等が参画するプラットフォームを形成し、連携体による商品開発や販路開拓等の取組を支援するとともに、地産品等を広く周知するイベントを開催する。

ア 産地立地型加工プロジェクト推進事業

- ・ 対象者 6次産業化クラスター協議会
（農林漁業者、食品加工業者、金融機関等により構成）
- ・ 補助率 定額（上限350万円／件）
- ・ 実施件数 2件

イ 6次化商品・地産品PR活動

- ・ 実施内容 6次産業化商品や地産品を広く周知するPRイベントの開催等

(3) 新需要創出型6次産業化商品開発事業

首都圏で定番商品となる6次産業化商品を創出するため、県内の食品事業者と首都圏食品卸が共同で行う商品開発に対して支援する。

- ・ 対象者 農業者、農業法人、農業者等と連携して取り組む食品事業者等
- ・ 補助率 定額（上限40万円／件）
- ・ 実施件数 3件

2 事業主体

(1)、(2)のイ：県

(2)のア：県、クラスター協議会

(3)：県、食品事業者等

3 予算額		
23,727千円	〔 国庫支出金	16,371千円 〕
	繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	7,356千円 〕
(1)： 7,434千円	〔 報償費、旅費等	268千円 〕
	委託料	7,166千円 〕
(2)： 14,189千円	〔 報償費、旅費等	1,694千円 〕
	委託料	5,495千円 〕
	負担金補助及び交付金	7,000千円 〕
(3)： 2,104千円	〔 報償費、旅費等	904千円 〕
	負担金補助及び交付金	1,200千円 〕
4 事業年度		
平成26年度～		

5 次世代あきたアグリヴィーナス応援事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農業経済課

女性が生き生きと活躍する場の創出と、農業の魅力アップを図るため、女性農業者の感性を生かした起業活動を支援する。

1 事業内容

(1) あきたアグリヴィーナス育成事業

あきたアグリヴィーナスネットワークの活動を支援し、農産加工等の起業活動に取り組む女性農業者を育成するとともに、商品開発や販路拡大等の活動をサポートする。

- ・ 対 象 者 ネットワーク会員等
- ・ 活動内容 販売会や商談会への参加、研修会や応援団企業を招いた活動報告会の開催等

(2) あきたアグリヴィーナス起業活動支援事業

女性農業者の起業活動を促進するため、新商品開発や販路拡大などの取組に対して支援するとともに、専門家の経営指導による直売活動の持続的な発展を支援する。

ア 女性起業発展支援事業

- ・ 対 象 者 農産加工や直売などに取り組む組織、個人等
- ・ 助成対象 講師招へい経費、研修会費、広告宣伝費、リース料、機械設備・備品の購入費等
- ・ 補 助 率 1／2以内（上限100万円）

イ 直売所魅力アップ支援事業

(ア) 直売所魅力アップ支援事業

- ・ 対 象 者 直売所（1か所）
- ・ 実施内容 専門家派遣による集荷モデル構築や売上向上に向けた経営指導

(イ) 経営分析支援

- ・ 実施内容 売上分析演習やICT導入等による経営力の向上に向けた研修会の開催

2 事業主体

(1)、(2)のイ：県

(2)のア：女性農業者等

3 予算額		
5, 1 1 4 千円	〔 国庫支出金 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	1, 3 6 3 千円 3, 7 5 1 千円
(1)：2, 3 3 2 千円	〔 報償費、旅費等 委託料	3 9 5 千円 1, 9 3 7 千円
(2)：2, 7 8 2 千円	〔 報償費、旅費等 負担金補助及び交付金	7 7 4 千円 2, 0 0 8 千円
4 事業年度		
令和元～3年度		

6 農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事業（豪雪災害分）

農業経済課

令和2年12月からの豪雪等により被害を受けた農業者の経営再建を支援するため、既設の県単資金を拡充し無利子の融資枠を設けるとともに、融資機関に対して県・市町村が利子補給を行い、被災農業者の償還負担の軽減を図る。

また、拡充する融資枠に対する利子補給金及び損失補償について、債務負担行為を設定する。

1 事業内容

(1) 貸付対象者 市町村長が被害認定した農業者等

(2) 資金使途 災害に起因する農業経営の維持に必要な経費

(3) 貸付利率 無利子

	県	市町村	融資機関	計
負担割合	1 / 2	1 / 4	1 / 4	4 / 4
利子補給率	0.51%	0.255%	0.255%	1.02%

(4) 貸付限度額 個人 500万円

法人 2,500万円

(5) 融資枠 3億円（うち預託額1億円、県と融資機関との3倍協調融資）

(6) 融資機関 JA、銀行等

(7) 償還期限 10年以内（うち据置期間3年以内）

(8) 債務保証への損失補償

秋田県農業信用基金協会が債務保証した貸付金において代位弁済が発生した場合、県がその損失の一部を補償

2 事業主体

県

3 予算額

101,153千円

〔 諸収入 100,000千円
一般財源 1,153千円 〕

〔 負担金補助及び交付金 1,153千円
貸付金 100,000千円 〕

4 事業年度

令和3～14年度

【債務負担行為】

1 事業内容

(1) 利子補給率 0.51%

(2) 設定期間 損失補償 令和3～14年度
利子補給金 令和4～13年度

2 事業主体
県

3 債務負担行為限度額

損失補償 3,000千円

利子補給金 9,052千円

合 計 12,052千円

7 農産物グローバルマーケティング推進事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農業経済課販売戦略室

県産農産物の輸出を促進するため、海外への販路開拓と産地の輸出力向上に取り組み、生産から販売に至る輸出体制を強化する。

1 事業内容

(1) グローバル企業連携輸出ルート拡大事業

取引実績のある輸出企業との連携強化や、新たな企業開拓に取り組み、輸出ルートの拡大を図る。

- ・ 実施内容 海外実需者を対象とした県産農産物の商談活動
- ・ 対象企業 ターゲット国に販路を有する輸出業者、店舗を持つ日系企業等

(2) A K I T A グローバルマーケティング事業

沖縄県に県産農産物の情報発信拠点を設け、沖縄を起点としたアジア圏への輸出ルートの構築を図る。

- ・ 実施内容 ポップアップストア設置による県産品 P R 販売、実需との輸出商談等

(3) 輸出規制対応産地体制整備事業

台湾の植物防疫条件等に対応した栽培・防除体系を確立するほか、果樹産地への輸出対応技術の普及を図る。

- ・ 実施内容 台湾向け果実輸出に向けた生産出荷体制の実証等

(4) グローバル産地形成支援事業

輸出国のニーズや規制等に対応した産地を形成するため、経営戦略として輸出に取り組む農業者等を支援する。

- ・ 助成対象 海外ニーズに対応した生産管理体制の整備、展示会への出展等
- ・ 補助率 定額（上限1,000万円）

2 事業主体

(1)～(3)：県

(4)：大潟村農産物・加工品輸出促進協議会

3 予算額		
22,452千円	〔 国庫支出金 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	10,000千円 12,452千円
(1)： 903千円	〔 旅費 需用費等	796千円 107千円
(2)： 9,981千円	〔 報償費、旅費等 委託料	2,053千円 7,928千円
(3)： 1,568千円	〔 報償費、旅費等 委託料	768千円 800千円
(4)： 10,000千円	〔 負担金補助及び交付金	10,000千円
4 事業年度		
令和元～3年度		

8 県産農産物販売力強化支援事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農業経済課販売戦略室

自ら販路拡大に取り組む農業者等を育成し、県外や海外への展開を促進するとともに、生産者と事業者の連携による農産物のブランド化に向けた取組を支援する。

1 事業内容

(1) 農業者等営業力強化事業

ア 販路拡大支援事業

農業者等の県外や海外への販路拡大活動を支援する。

- ・ 対象者 認定農業者、農業法人、認定就農者等
9経営体（海外展開3経営体、国内展開6経営体）
- ・ 助成対象 実需者訪問、商談会出展、新たな品目・品種の試験栽培等
- ・ 補助率 海外展開 1／2以内（上限40万円）
国内展開 1／3以内（上限20万円）

イ 営業スキルアップ事業

商談機会を提供するとともに、商談に必要なノウハウ等の指導により、農業者等のビジネススキルの向上を支援する。

- ・ 対象者 販路拡大支援事業の対象者 6経営体
- ・ 内容 生産者の意向の把握、研修会や実践商談会の実施、商談会等でのフォローアップ等

ウ 販路拡大フォローアップ事業

普及指導員を主体とした農業者等のフォローアップ体制を構築し、取引の定着や販路拡大を支援する。

- ・ 対象者 販路拡大支援事業等の実施者
- ・ 内容 農業者等の販路拡大への支援、マーケティング動向の情報提供等

(2) あきたトップブランド創出支援事業

エンドユーザーから求められる、プレミアムな農産物を創出するため、新たな規格設定や生産・集荷・選別方法の確立、テストマーケティング等の取組を支援する。

- ・ 対象者 県内事業者（JA、卸売業者、仲卸業者等）
- ・ 助成対象 試験栽培経費、検査分析費、産地招へい旅費等
- ・ 補助率 1／2以内（上限50万円）

2 事業主体

(1) のア : 農業者等

(1) のイ、ウ : 県

(2) : 県、県内事業者

3 予算額		
6, 0 7 1 千円	〔 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	6, 0 7 1 千円 〕
(1)：4, 9 9 3 千円	〔 旅費等	5 9 3 千円
	委託料	2, 0 0 0 千円
	負担金補助及び交付金	2, 4 0 0 千円
(2)：1, 0 7 8 千円	〔 旅費等	7 8 千円
	負担金補助及び交付金	1, 0 0 0 千円
4 事業年度		
令和2～4年度		

9 日本型直接支払交付金事業（継続）

農山村振興課
水田総合利用課

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、水路・農道等を維持する共同活動や中山間地域等における農業生産活動、自然環境の保全に資する活動を支援する。

1 事業内容

(1) 日本型直接支払交付金事業（多面的機能）

ア 多面的機能支払交付金

(ア) 農地維持支払交付金

農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の砂利補充等の保全活動を支援する。

- ・ 交付単価 田 3,000円/10a、畑 2,000円/10a
- ・ 実施面積 98,500ha
- ・ 負担割合 国1/2、県1/4、市町村1/4

(イ) 資源向上支払交付金（共同活動）

水路や農道、ため池の軽微な補修、農村環境の保全活動等への支援に加えて、多面的機能の増進を図る新たな活動等を支援する。

- ・ 交付単価 田（新規）2,400円/10a、（継続）1,800円/10a
畑（新規）1,440円/10a、（継続）1,080円/10a
- ・ 加算単価 多面的機能の更なる増進 田 400円/10a、畑 240円/10a ほか
- ・ 実施面積 96,000ha（うち加算対象 5,630ha）
- ・ 負担割合 国1/2、県1/4、市町村1/4

(ロ) 資源向上支払交付金（長寿命化）

水路や農道等の改修・更新など、施設の長寿命化のための活動を支援する。

- ・ 交付単価 田 4,400円/10a、畑 2,000円/10a
- ・ 実施面積 8,000ha
- ・ 負担割合 国1/2、県1/4、市町村1/4

イ 多面的機能支払推進交付金

県、市町村、推進組織（協議会）が行う推進・指導及び交付申請事務等に要する経費

- ・ 負担割合 国定額

(2) 日本型直接支払交付金事業（中山間地域等）

ア 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等における農業生産条件の不利を補正することにより、農業生産の継続を支援する。

- ・ 交付単価 田（急傾斜地）21,000円/10a、（緩傾斜地）8,000円/10a
畑（急傾斜地）11,500円/10a、（緩傾斜地）3,500円/10a
- ・ 加算単価 生産性向上 3,000円/10a ほか
- ・ 実施面積 10,100ha（うち加算対象 489ha、特認地域 22ha）
- ・ 負担割合 国1/2（1/3）、県1/4（1/3）、市町村1/4（1/3）
※ （ ）内は特認地域（対象地域に準ずる条件不利地域）の場合

推進事務、確認事務、交付事務等に要する経費

- ・ 負担割合 国定額等

(3) : 県、市町村

(3): 1, 272千円 (負担金補助及び交付金等 1, 272千円)

(3) : 平成23年度～

区 分	令和元年度実績	令和2年度実績見込み	令和3年度計画
日本型直接支払交付金事業 (多面的機能)	96,626ha (987組織)	97,011ha (985組織)	98,500ha (1,004組織)
日本型直接支払交付金事業 (中山間地域等)	10,419ha (547協定)	9,808ha (483協定)	10,100ha (510協定)
日本型直接支払交付金事業 (環境保全型農業支援対策)	1,519ha (26団体)	4,207ha (23団体)	5,034ha (22団体)

10 元気な中山間農業応援事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農山村振興課

平地に比べ営農条件が不利な中山間地域を対象に、経営規模は小さくても一定の所得が確保できるよう、地域が主体となった計画づくりとその実現に必要な取組を支援する。

1 事業内容

(1) 中山間地域資源活用プラン策定事業（継続）

地域特産物等の地域資源を活かし、地域の創意工夫によるプランの策定を支援する。

- ・ 対 象 者 市町村
- ・ 助成対象 地域資源活用プラン（資源活用計画、年度別事業計画等）の策定等
- ・ 補 助 率 1／2以内

(2) 中山間水田畑地化整備事業（継続）

地域特産物等の本作化を図るため、水田の畑地化に必要な基盤整備等を実施する。

- ・ 対 象 者 農業者
- ・ 対象工種 客土、混層耕、暗渠排水工、用排水施設整備等
- ・ 負担割合
標準タイプ（県営・工事費200万円以上） 国50／100、県40／100、市町村等10／100
※ 山村振興法や過疎法等の指定地域内における場合、国55／100、県35／100、市町村等10／100

(3) 中山間資源を活かす生産体制整備事業（拡充）

ア 地域特産物生産体制強化事業

地域特産物等の生産体制の強化に必要な機械等の導入を支援する。

- ・ 対 象 者 農業者、農業法人、任意組織、J A
- ・ 助成対象 機械等の導入（作柄安定施設、出荷調製機械、牛舎等）
- ・ 補 助 率 1／2以内（肉用牛1／3以内）

イ 水稻生産体制再編事業

水稻生産体制の再編に必要な機械等の導入を支援する。

- ・ 対 象 者 平成29年1月以降に設立した集落型農業法人
- ・ 助成対象 水稻生産の機械等の導入（稲作関連機械、乾燥調製施設の改修等）
- ・ 補 助 率 3／10以内

ウ 中山間6次産業化モデル事業

地域特産物等を活用した6次産業化の実施に必要な機械等の導入を支援する。

- ・ 対 象 者 農業者、農業法人、任意組織、市町村
- ・ 助成対象 6次産業化に係る機械等の導入（処理加工機械、直売関連機械等）
- ・ 補 助 率 1／2以内

エ 売れる地域特産物づくり推進事業

新規作物の導入や販売促進活動等、地域独自の取組に対して支援する。

- ・ 対 象 者 農業者、農業法人、任意組織
- ・ 助成対象 地域特産物の販売促進活動や加工品の試作等
- ・ 補 助 率 市町村補助額と同額（上限 事業費の1／2）

オ 中山間地域需給調整対応支援事業

主食用米から転作作物に転換するために必要な機械等の導入を支援する。

- ・ 対 象 者 認定農業者
- ・ 助成対象 大豆、麦の生産拡大や省力化に要する機械等
- ・ 補 助 率 1／2以内

(4) 中山間営農型太陽光発電モデル実証事業（継続）

収益性の高い農業を確立するため、太陽光発電と両立した新たな営農の実証を行う。

- ・ 実施地域 秋田市雄和種沢地域
- ・ 実施内容 重点推進園芸品目（えだまめ等）を対象とした実証試験

2 事業主体

(1) : 市町村

(2)、(4) : 県

(3) : 認定農業者、農業者、農業法人、任意組織等

3 予算額

211,864千円

国庫支出金	55,000千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	126,495千円
中山間地域土地改良施設等保全基金	561千円
諸収入	10,508千円
県債	19,300千円

(1) : 561千円

旅費等	161千円
負担金補助及び交付金	400千円

(2) : 100,120千円

委託料	8,000千円
工事請負費	92,120千円

(3) : 110,000千円

負担金補助及び交付金	110,000千円
------------	-----------

(4) : 1,183千円

報償費等	375千円
委託料	300千円
償還金、利子及び割引料	508千円

4 事業年度

平成26年度～令和3年度

11 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業（継続）

農山村振興課

秋田の財産であり、我が国の財産でもある里地里山を守り、水源・景観・生産・文化などの多面的な機能を後世に引き継ぐための取組に対し、総合的に支援する。

1 事業内容

(1) 「守りたい秋田の里地里山50」推進事業

認定地域における里地里山の保全・継承に向け、県内外において、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動を実施する。

- ・ 実施内容 首都圏等におけるPR活動の実施
PRパンフレット・カードの作成
認定地域の情報発信
写真コンクールの開催

(2) 里地里山のサポート活動支援事業

認定地域において、県内外の企業や大学等を対象に里地里山サポーターを募集し、地域とサポーターが協働で行う保全活動等に対して支援する。

- ・ 実施内容 認定地域とサポーターとの協働活動に対する支援
〔 農作業体験活動（社員教育の場の提供、リフレッシュ体験等）
農地保全活動（農地、水路、ため池等の保全等）
地域づくり活動（都市との交流、地域資源を活用した商品開発等）
調査研究活動（農村地域活性化に関する調査研究等） 〕
- ・ 補助率 定額（上限50万円）

2 事業主体

(1)：県

(2)：認定地域の農業者で組織する団体等

3 予算額

9, 103千円	〔 寄附金 550千円 繰入金：中山間土地改良施設等保全基金 8, 553千円 〕
----------	--

(1)：3, 333千円	〔 報償費、旅費等 2, 413千円 委託料 720千円 負担金補助及び交付金 200千円 〕
--------------	---

(2)：5, 770千円	〔 旅費、需用費等 270千円 負担金補助及び交付金 5, 500千円 〕
--------------	--

4 事業年度

平成28年度～令和3年度

【参考】「守りたい秋田の里地里山50」について

○ 制度の概要

農山村地域の農地等が有する多面的機能を県民共有の財産として次世代に引き継ぐため、住民が主体となって優れた景観を維持管理していることに加え、自然・文化・歴史・人など多様な地域資源を活用し、環境保全・交流活動等にも取り組んでいる地域について、平成27年度から「守りたい秋田の里地里山50」に認定している。

○ 認定地域数（年度別・管内別）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
14	10	8	5	12	2	51

管内	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝
認定数	4	8	4	8	7	7	4	9

○ 認定地域や活動の例



〔北秋田市「阿仁戸島内地域」（平成27年度認定）〕



〔大仙市豊岡「小沼地域」（平成30年度認定）〕

里地里山のサポート活動支援事業を活用した大学生との協働活動（神社の参道整備）

12 新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水田総合利用課

収益性の高い複合型生産構造の確立を図るため、戦略作物の生産拡大や6次産業化等に
必要な機械・施設等の導入を支援する。

また、スマート農業技術の導入、米需給調整への対応、周年農業の確立に向けた取組に
ついては、優先採択する。

1 事業内容

(1) 対象作物等

- ・ 野菜（えだまめ、ねぎ、アスパラガス、トマト、きゅうり、すいか等）
- ・ 菌茸類（しいたけ等）
- ・ 花き（キク、リンドウ、トルコギキョウ、ユリ、ダリア等）
- ・ 果樹（りんご、なし、ぶどう、もも、おうとう）
- ・ 土地利用型作物（大豆、麦、そば、葉たばこ）
- ・ 畜産（肉用牛、乳用牛（初妊牛）、比内地鶏、飼料増産）
- ・ 地域特認品目（地域振興局で特に振興する品目）
- ・ 新規就農者の経営の複合化に必要な品目
- ・ 6次産業化（農産物の加工や直売等）

(2) 助成対象

- ・ 生産、収穫調製、出荷等に必要な機械・施設の整備に要する経費
- ・ 新植、改植に要する経費（アスパラガス、リンドウ等、果樹）
- ・ 繁殖用雌牛、乳用初妊牛の導入に要する経費
- ・ 農業生産及び加工、直売等に必要な機械・施設の整備に要する経費

(3) 補助率 1／3以内（農外からの新規就農者は1／2以内）

2 実施主体

認定農業者、認定就農者、6次産業化法認定事業者、女性農業者等

3 予算額

370, 328千円	〔 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	370, 328千円 〕
	〔 旅費、需用費等	328千円
	負担金補助及び交付金	370, 000千円 〕

4 事業年度

平成30年度～令和3年度

13 次世代につなぐ水田農業総合対策事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水田総合利用課

将来にわたる水田農業の維持・発展を図るため、「秋田米生産・販売戦略」に基づき、低コスト化や業務用米への取組等を促進する。

1 事業内容

(1) 秋田米生産・販売戦略推進事業

生産者、農業団体、行政が一体となり、「秋田米生産・販売戦略」を推進する。

- ・ 実施内容 「秋田米生産・販売戦略推進会議」（構成：県域農業団体、J A、県立大学、県等）の開催等

(2) 業務用米生産拡大支援事業

業務用米の需要回復に対応するため、多収性品種による省力・低コスト生産等の取組を推進するほか、特定需要に対応した酒造好適米の生産振興及び需要拡大を図る。

ア 業務用米生産拡大対策

- ・ 多収性品種生産技術の研修会の開催

イ 酒米生産拡大対策

- ・ 酒米栽培研修会の開催、県内外需要調査、展示会への出展等

(3) 先進技術等導入実証事業

省力低コスト技術とICT農機等による大規模稲作体系の確立を図る。

ア 1 ユニット30ha経営による低コスト稲作の実証

- ・ 実施地区 8 地域振興局
- ・ 実施内容 「営農計画策定支援システムによる効率的な稲作体系」の実証

イ ICT等先端技術を活用した産地の課題解決実証

- ・ 実施地区 1 地区（由利）
- ・ 実施内容 リモートセンシングと可変施肥技術による水稻の安定生産や、水管理システムによる省力化の実証

ウ 次世代農業機械を活用した省力化技術の実証

- ・ 実施地区 1 地区（仙北）
- ・ 実施内容 自動走行トラクター等による水田作業の省力化効果の検証

(4) 技術支援体制強化事業

秋田米の高品質・安定生産のため、技術指導を強化する。

ア 食味向上技術実践ほの設置

- ・ 実施地区 3 地区（北秋田、秋田、雄勝）
- ・ 実施内容 高品質・良食味米生産のための栽培技術体系の実践

イ 食味評価試験の実施

- ・ 実施内容 食味関連調査（委託先：（一財）日本穀物検定協会）

(5) 大豆生産力向上技術導入事業

水田フル活用を支える大豆の高収量・高品質化を図る。

ア 多収阻害要因対策マニュアル活用による生産力向上実証ほの設置

- ・ 実施地区 2地区（山本、仙北）
- ・ 実証内容 排水不良などの単収向上阻害要因の解析・実証

イ 難防除病害対策事業

- ・ 実施地区 1地区（山本）
- ・ 実証内容 黒根腐病防除技術体系の確立

ウ 難防除雑草対策事業

- ・ 実施地区 1地区（北秋田）
- ・ 実証内容 アメリカアサガオ、アレチウリ等の難防除雑草防除技術体系の確立

(6) 水田農業基幹施設等整備支援事業

安定的な水田農業経営の実現のため、共同利用施設の整備等を支援する。

ア 実施内容

実施主体	（農）秋田市南カントリーエレベーター利用組合
実施地区	秋田市南部地区（受益面積492ha）
整備等内容	カントリーエレベーター1棟
施設能力	処理量 水稻乾燥粳3,000 t、乾燥大豆111 t
事業費	1,364,990千円（うち補助金620,450千円）

実施主体	（農）樽見内宮農組合
実施地区	横手市（受益面積25ha）
整備等内容	輸出用米生産に要する農業機械の導入（リース）
事業費	23,196千円（うち補助金10,543千円）

イ 補助率 1／2以内

(7) 土づくり産地パワーアップ事業

土づくりに意欲がある産地を対象に堆肥の施用経費等を支援する。

ア 実施内容

- ・ 実施地区 2地区（由利、仙北）
- ・ 対象経費 牛ふん堆肥の購入費、散布費、土壌分析等

イ 補助率 定額（3万円／10a）

2 事業主体

- (3)のイ : 普及指導組織等により構成される協議会
(3)のウ、(6) : 農業法人
(7) : 農業者等
上記以外 : 県

3 予算額

640,533千円

国庫支出金	622,450千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	6,888千円
諸収入	11,195千円

(1)：951千円

報償費、旅費	527千円
需用費等	424千円

(2)：558千円

報償費、旅費等	558千円
---------	-------

(3)：2,883千円

報償費、旅費等	883千円
負担金補助及び交付金	2,000千円

(4)：3,810千円

報酬、報償費、旅費等	1,167千円
需用費	993千円
委託料	1,650千円

(5)：687千円

報償費、旅費等	256千円
需用費	431千円

(6)：630,993千円

負担金補助及び交付金	630,993千円
------------	-----------

(7)：651千円

負担金補助及び交付金	651千円
------------	-------

4 事業年度

令和2～4年度

14 水田作付転換緊急推進事業（新規）

水田総合利用課

主食用米から飼料用米への作付転換を図るため、産地交付金と合わせて主食用米と同程度の収入が確保されるよう助成する。

1 事業内容

(1) 水田作付転換面積支払

飼料用米に作付転換を行う生産者に対し、拡大した面積に応じて、助成金を交付する。

- ・ 対象作物 飼料用米
- ・ 対象者 飼料用米を前年より30a以上多く作付けした者
- ・ 限度額 5,000円/10a（前年からの拡大分）
 - ※ 産地交付金の県推進枠（作付拡大への緊急助成）の交付単価
15,000円/10aを下回った場合、差額の1/2を交付
 - ※ 国は、県と同額を対象者に直接交付

(2) 附帯事務費

地域農業再生協議会に事務費を交付する。

2 事業主体

地域農業再生協議会

3 予算額

43,450千円（一般財源 43,450千円）

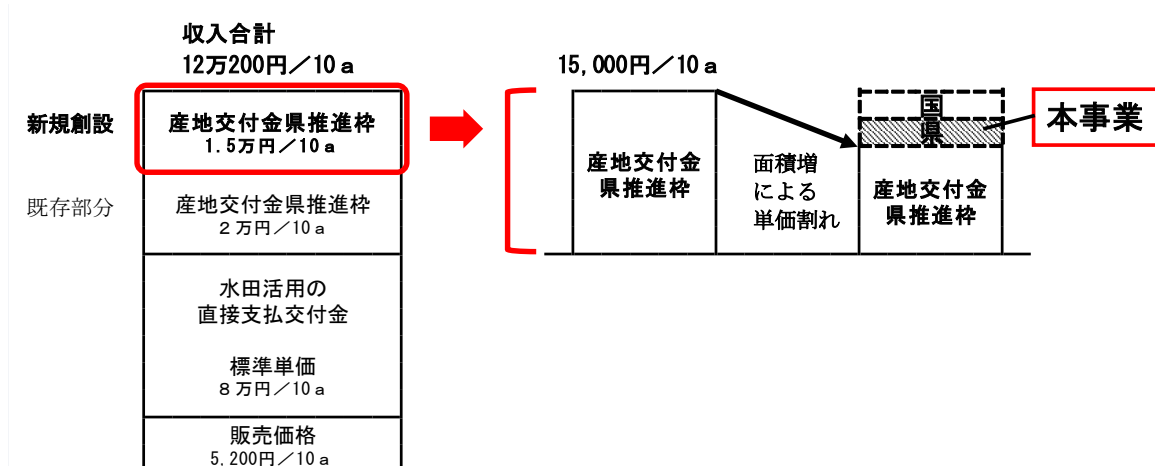
(1) : 40,000千円（負担金補助及び交付金 40,000千円）

(2) : 3,450千円（負担金補助及び交付金 3,450千円）

4 事業年度

令和3～6年度

【参考】水田作付転換面積支払のイメージ



15 秋田米をリードする新品種デビュー対策事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

「サキホコレ」の本格デビューに向け、高品質な米を安定供給するための生産対策やブランドイメージ構築のための流通・販売対策、戦略的な情報発信等を総合的に実施する。

1 事業内容

(1) 確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業

品質・食味の一層の向上と地域別栽培マニュアルの策定に向け、引き続き栽培試験を実施するとともに、栽培技術の普及や区分集荷体制の構築を進める。

ア 栽培特性調査

- ・ 現地栽培試験 3か所（秋田、仙北、平鹿）

イ 商品訴求力の向上につながるデータ収集

- ・ 炊飯特性分析（委託先 （株）アイホー炊飯総合研究所）

ウ 品種特性を発揮できる栽培方法等の調査

- ・ 施肥反応試験、特別栽培米の栽培試験（農業試験場）
- ・ 食味関連調査（委託先 （一財）日本穀物検定協会、43点）

エ 生産・集荷体制の構築

(ア) 栽培技術の普及

- ・ 技術情報の提供（技術普及展示ほの設置（20か所）、SNS等の活用）
- ・ 研修会の開催（指導者研修（年5回）、生産者研修（各地域で年5回））
- ・ 生産技術の研鑽（地域の生産者協議会の設立）

(イ) 区分集荷体制の構築

- ・ 事業内容 JA等集荷団体における食味分析計の導入支援（2台）
- ・ 補助率 国1／6以内、県1／6以内

(2) トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業

総合プロデューサーの監修の下にプロモーション等の統一的な展開を図り、訴求力のあるブランドイメージを構築する。

ア ブランド化総合プロデュース

- ・ ロゴマークの活用や、広告・イベントの企画等に係る指導・助言

イ 流通・販売促進活動

- ・ 卸・小売調査、商標登録、海外商標登録等

(3) 知名度や関心を高めるための戦略的な情報発信事業

デビュー前から戦略的に情報を発信し、県内外において関心や期待感を高める。

ア プロモーション活動

- ・ ロゴマークデザイン発表、先行販売イベント、メディアを活用した話題創出等

イ 情報発信活動

- ・ 学校給食への提供、農業系高校における栽培実習、ホームページによるPR等

(4) ブランド化戦略推進体制整備事業

「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の円滑な運営を図るとともに、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づく取組を推進する。

- ・ 本部会議及び専門部会の開催等

2 事業主体

(1)のエ：県、集荷団体

上記以外：県

3 予算額

150,740千円

国庫支出金	73,837千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	76,896千円
諸収入	7千円

(1)：21,094千円

報酬、報償費、旅費等	9,868千円
委託料	8,574千円
負担金補助及び交付金	2,652千円

(2)：5,563千円

旅費、需用費	902千円
委託料	4,661千円

(3)：118,322千円

報償費、旅費等	2,796千円
委託料	115,526千円

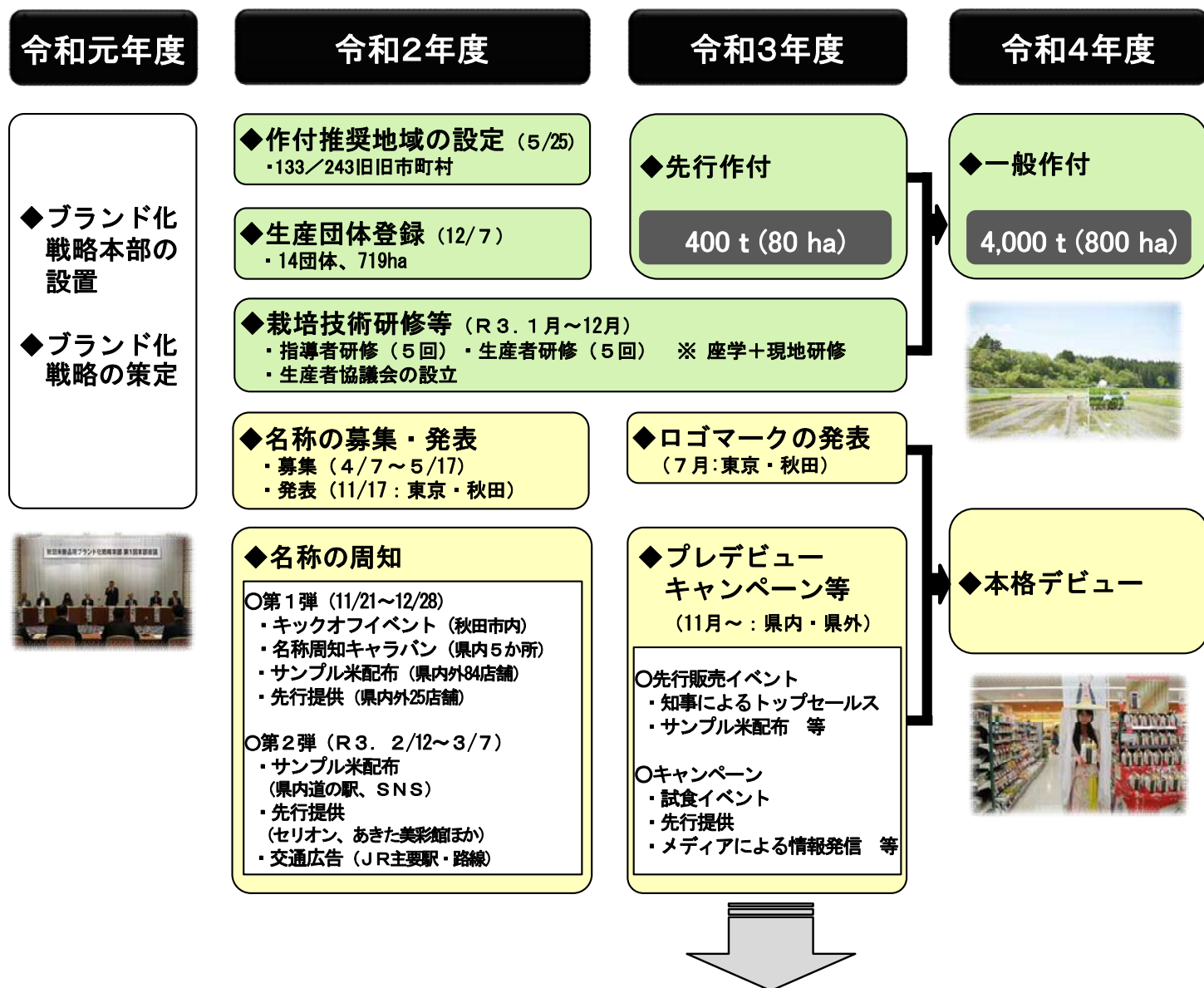
(4)：5,761千円

報償費、旅費等	4,821千円
需用費	940千円

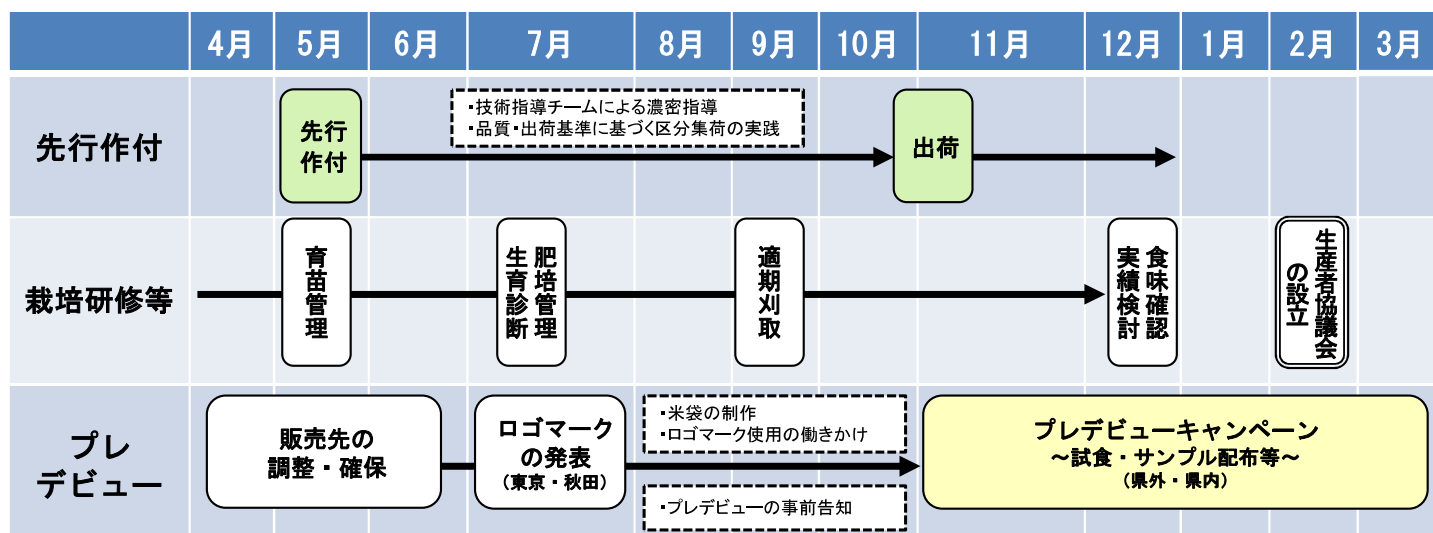
4 事業年度

平成30年度～令和3年度

全体スケジュール



令和3年度スケジュール



16 メガ団地等大規模園芸拠点育成事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

園芸振興課

園芸品目の飛躍的な生産拡大により、複合型生産構造への転換を加速させるため、本県の園芸振興をリードするメガ団地等の整備を支援する。

1 事業内容

(1) 大規模園芸拠点推進事業

メガ団地等を推進するＪＡや市町村等と共同で設置するプロジェクトチームの活動等を支援する。

- ・ 対象地域 8地域振興局
- ・ 活動内容 プロジェクトチーム会議等の開催
事業計画の策定支援や営農開始後のフォローアップ
大規模園芸フォーラムの開催等

(2) 大規模園芸拠点整備事業

メガ団地等で必要な施設・機械等の整備を支援する。

- ・ 助成対象 生産、収穫、調製・出荷等に必要な機械・施設等の整備に要する経費
- ・ 事業タイプ メガ団地 : 1団地で販売額1億円以上を目指す団地
ネットワーク団地 : 複数の団地（1団地が3,000万円以上）で販売額1億円以上を目指す団地
サテライト団地 : メガ団地と連携して販売額3,000万円以上を目指す団地
- ・ 補助率 国庫補助事業を活用する場合 : 国1/2以内、県15/100以内
県単独事業の場合 : 県1/2以内

2 事業主体

(1) : 県

(2) : 農業法人等

3 予算額

552,003千円

繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	276,186千円
諸収入	275,817千円

(1) : 2,093千円

報償費等	399千円
旅費	604千円
需用費	1,090千円

(2) : 549,910千円

負担金補助及び交付金	549,910千円
------------	-----------

4 事業年度

平成30年度～令和3年度

【参考1】令和3年度の地区別事業概要

単位：千円

区 分		地区名 (事業タイプ)	取組 主体	品目及び目標規模	整備内容	事業費 (補助金)
継 続	1	能代市浅内、東雲原 (ネットワーク)	3 法人	ねぎ (露地16.2ha)	休憩所、溝掘機等	50,214 (23,332)
	2	能代市吹越・朴瀬・常盤 ・築法師 (ネットワーク)	1 法人 3 個人	ねぎ (露地10.8ha) キャベツ(露地15.5ha)	作業舎、収穫機等	23,536 (12,287)
	3	三種町八竜・八峰町八峰 (ネットワーク)	3 法人	ねぎ (露地16.5ha) キャベツ(露地 2.5ha)	休憩所、選別機、ローダー等	21,676 (9,851)
	4	美郷町畑屋中央 (ネットワーク)	2 法人	きゅうり(施設 2.4ha)	かん水設備等	50,250 (22,839)
	5	湯沢市関口 (メガ)	1 組織	せり (施設 1.0ha) (露地 1.7ha) ねぎ (露地 3.5ha)	パイプハウス、管理機等	31,465 (16,694)
	小 計 (5 地区)					177,141 (85,003)
新 規	1	大館市田代 (サテライト)	1 法人	にんにく(露地 6.0ha)	格納庫、トラクター、にんにく種子等	70,378 (36,848)
	2	藤里町矢坂上野 (サテライト)	1 個人	ねぎ (露地 2.5ha) 山うど (露地 2.5ha)	格納庫、トラクター等	40,937 (23,248)
	3	大仙市内小友 仙北市神代 美郷町金沢 (ネットワーク)	4 法人	ねぎ (露地18.0ha) だいこん(露地13.0ha)	格納庫、パイプハウス、トラクター、収穫機等	660,927 (362,146)
	4	横手市中村 (サテライト)	1 法人	キク (露地 2.4ha) (施設 0.2ha)	作業舎、格納庫、パイプハウス、トラクター等	78,453 (42,665)
	小 計 (4 地区)					850,695 (464,907)
合 計 (9 地区)						1,027,836 (549,910)

【参考2】年度別団地数（整備着手年）

種 別	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	小計	R 3	合 計
園芸メガ団地	3	4	3	9	7	5	5	36	4	40
しいたけ団地				1	6	3		10		10
累 計	3	7	10	20	33	41	46		50	50

17 秋田のやさい総合推進事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

園芸振興課

本県の主力野菜の生産拡大や品質向上を促進するほか、中山間地域等の特色ある取組の支援や県オリジナル品種の生産基盤づくり等を実施する。

1 事業内容

(1) 日本一獲得事業

えだまめ、ねぎ、しいたけについて、京浜地区の中央卸売市場への出荷量日本一と認知度・品質の向上を目指し、栽培実証や販売促進活動を実施する。

ア えだまめ

- ・ 品質査定会（京浜中央卸売市場）及び目揃い会（県内産地）
- ・ 地元消費者へのPRと消費拡大対策（県内イベント）

イ ねぎ

- ・ 夏ねぎの単収・品質の向上、出荷前進の実証
- ・ 品質査定会（京浜中央卸売市場）及び目揃い会（県内産地）

ウ しいたけ

- ・ 品質査定会（京浜中央卸売市場）

(2) 戦略野菜V字活性化事業

病害や労働力不足等により生産が縮小傾向にあるアスパラガス、きゅうり、すいかのV字回復を図るため、新しい栽培方式の実証等を行う。

ア アスパラガス

- ・ 半促成栽培の実証・普及（仙北）、ネット栽培の検証（由利）

イ きゅうり

- ・ ネット栽培の実証・普及（平鹿）

ウ すいか

- ・ あきた夏丸チッチェの動画マニュアルの作成（農業試験場）

(3) 大規模露地野菜産地育成事業

需要が堅調な露地野菜について、大規模産地づくりを促進するため、機械化一貫体系の構築等を支援する。

- ・ 春植えたまねぎにおける機械化一貫体系と輪作体系の実証（由利）

(4) 特徴ある中山間園芸支援事業

薬用作物や伝統野菜など、中山間地域等で取り組まれる特徴的な園芸生産を促進するため、栽培方法の確立に向けた現地試験等を実施する。

ア 薬用作物の栽培技術の確立支援

- ・ 国の栽培技術研修会への参加による技術者の養成

イ 地域特産作物の栽培技術の確立支援

- ・ 伝統野菜等の生産技術指導、遺伝資源の保護

(5) 園芸品目販売拡大事業

県産園芸品目の認知度向上と販売額の増大を図るため、生産者やＪＡグループと連携し、「オール秋田」体制で、販売促進活動を展開する。

- ・ 首都圏量販店等での秋田フェアの開催等

(6) 県オリジナル園芸品種種苗生産安定対策事業

県オリジナル園芸品種の種苗を安定的に供給するため、種子の生産量や品質の安定化を図る。

ア 県オリジナル品種の種苗の安定確保

- ・ 原原種・原種生産（農業試験場）

イ 種苗生産体制の強化

- ・ 平高整形ロータリーの導入に対する助成

2 事業主体

(1)、(2)、(4)：県

(3)：県、生産組織等

(5)：あきた園芸戦略対策協議会

(6)：県、(公社)秋田県農業公社

3 予算額

8, 9 2 2 千円	〔 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金 諸収入	8, 9 2 0 千円 2 千円
-------------	---------------------------	---------------------

(1)：1, 1 6 4 千円	〔 報償費、旅費、需用費等	1, 1 6 4 千円
-----------------	---------------	-------------

(2)：1, 2 7 6 千円	〔 報償費、旅費、需用費等	1, 2 7 6 千円
-----------------	---------------	-------------

(3)：2 8 0 千円	〔 需用費 負担金補助及び交付金	8 0 千円 2 0 0 千円
--------------	---------------------	--------------------

(4)：8 0 8 千円	〔 報償費、旅費、需用費等 委託料	3 7 9 千円 4 2 9 千円
--------------	----------------------	----------------------

(5)：3, 5 0 0 千円	〔 負担金補助及び交付金	3, 5 0 0 千円
-----------------	--------------	-------------

(6)：1, 8 9 4 千円	〔 報酬、旅費等 負担金補助及び交付金	1, 6 6 3 千円 2 3 1 千円
-----------------	------------------------	-------------------------

4 事業年度

令和２～４年度

18 秋田牛ブランド確立推進事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

畜産振興課

秋田牛の有利販売と全国メジャー化に向け、県内外における秋田牛ブランドの浸透を図るとともに、タイ及び台湾への輸出拡大を図る。

1 事業内容

(1) 秋田牛ブランド確立推進事業（拡充）

県内外において「秋田牛」ブランドの浸透を図るとともに、品質向上によるブランド力の強化に取り組む。

ア 首都圏等県外におけるブランド認知度向上

- ・ 県外の大手食肉事業者等を対象としたトップセールスの実施
- ・ 首都圏における拠点レストランの育成支援（6店舗）
- ・ 量販店バイヤーによる産地調査の実施

イ 県内におけるブランドイメージの定着

- ・ 飲食店等での秋田牛フェア、小売店等での販売促進キャンペーンの実施
- ・ ギフトシーズンにおけるキャンペーンの実施（2回）
- ・ 小売店等での情報発信の強化

ウ 品質向上によるブランド力の強化

- ・ 秋田牛の品質をアピールするための枝肉共励会の開催（2回）
- ・ ブランド確立に向けた研修会の開催、肉用牛情報の発信

(2) 秋田牛輸出推進事業（継続）

タイ及び台湾における輸出量の拡大と認知度向上に取り組む。

ア タイ

- ・ 現地レストラン、観光関係者等を招聘した試食会の開催（1回）
- ・ 飲食店等での秋田牛フェアの開催（5店舗）
- ・ 東京オリンピック・パラリンピック大会における県内事前合宿等でのPR

イ 台湾

- ・ 高級スーパーやレストラン等での販売促進キャンペーンの実施（16店舗）
- ・ 1頭単位での販売に向けたテストマーケティング（3頭）
- ・ 現地観光イベント等におけるPR（2回）

2 事業主体

(1)：県、民間事業者

(2)：県

3 予算額
18,956千円 (繰入金：農林漁業振興臨時対策基金 18,956千円)

(1)：10,710千円	{ 報償費、旅費等 委託料 負担金補助及び交付金	1,476千円
		7,884千円
		1,350千円

(2)：8,246千円	{ 旅費、需用費 委託料	1,070千円
		7,176千円

4 事業年度
平成30年度～令和3年度

【参考】事業実施のイメージ

(1) 秋田牛ブランド確立推進事業



〔量販店バイヤーによる産地調査〕



〔小売店等での販売促進キャンペーン〕

(2) 秋田牛輸出推進事業



〔タイ：外食・観光関係者等を招聘した試食会〕



〔台湾：高級スーパーでの販売促進キャンペーン〕

19 秋田牛生産総合対策事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

畜産振興課

肉用牛の産地としての全国評価の向上を図るため、肉用牛生産者の意欲向上と生産基盤となる黒毛和種牛群の遺伝能力向上を図る。

1 事業内容

(1) 肉用牛改良・増産意欲向上事業（継続）

繁殖農家と肥育農家との連携を強化し、肉用牛の改良・増産意欲の向上を図る。

- ・ 繁殖・肥育連携肉用牛推進会議の開催（4地域）
- ・ 畜産共進会への出品意欲向上対策（1回）
- ・ 「あきたの畜産・市場まつり」の開催支援

(2) 繁殖雌牛資質向上事業（継続）

優良雌牛の県内保留や県外導入を支援し、繁殖雌牛の資質向上と生産基盤の強化を図る。

ア 優良繁殖雌牛の保留支援

- ・ 子牛の市場調査や庭先調査による優良雌牛の早期発掘と県内保留の奨励(40頭)

イ 優良繁殖雌牛の活用による改良の推進

- ・ 改良の基礎となる優良雌子牛の県外導入への助成（10頭）

ウ 受精卵の安定供給と繁殖技術向上支援

- ・ 受精卵移植の推進（受精卵200個）
- ・ 繁殖技術の向上支援（県有牛飼養管理委託42頭）

(3) 種雄牛造成事業（拡充）

産肉能力と繁殖能力の高さを兼ね備えた種雄牛を造成する。

- ・ 新たな指標として牛肉中のオレイン酸含量や分娩間隔等のデータ収集と解析
- ・ 解析結果に基づく父牛と母牛の選抜
- ・ 遺伝子解析による優秀な雄子牛の選抜
- ・ 大型液体窒素保存容器の導入による適切な遺伝資源管理

(4) 全共出品技術向上事業（拡充）

鹿児島全共での上位入賞に向け、出品候補牛の確保と出品技術の向上を図る。

ア 種牛の部

- ・ 調教技術講習会、飼養管理技術研修会の開催
- ・ 出品候補牛の確保（若雄2頭、若雌10頭）

イ 肉牛の部

- ・ 出品候補牛の調査（35頭）
- ・ 超音波肉質診断技術の研鑽

2 事業主体

- (1) : 県、あきた総合家畜市場（株）
 (2) のイ : 和牛改良組合等
 上記以外 : 県

3 予算額

76,276千円

財産収入	14,495千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	60,481千円
諸収入	1,300千円

(1) : 1,580千円

需用費、役務費	780千円
委託料	200千円
負担金補助及び交付金	600千円

(2) : 50,742千円

旅費、需用費等	5,996千円
委託料	38,746千円
負担金補助及び交付金	6,000千円

(3) : 14,755千円

旅費、需用費等	5,307千円
委託料	5,448千円
備品購入費	4,000千円

(4) : 9,199千円

旅費、需用費	4,260千円
委託料	4,939千円

4 事業年度

平成30年度～令和4年度

【参考】(4) 全共出品技術向上事業スケジュール

区分	出品区	出品条件	生後月齢	令和元年度			令和2年度										令和3年度										令和4年度									
				12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
種牛の部	1区	若雄	15～ 23カ月未満	種付						出生						調教技術講習会 飼養管理技術研修会										出品牛正式申込み	県代表 最終選考会	第十二回 全国和牛能力共進会（鹿児島全共）								
	2区	若雌1	14～ 17カ月未満	種付						本牛出生																										
	3区	若雌2	17～ 20カ月未満	種付						本牛出生																										
	6区	①種牛群 4頭	17～ 24カ月未満	種付						本牛出生																										
肉牛の部	総合評価群	②肉牛群 3頭	24カ月未満	種付						本牛出生						肥育開始 出品候補牛調査 超音波肉質診断																				
	7区	脂肪の質 評価群 3頭	24カ月未満	種付						本牛出生																										
	8区	去勢 肥育牛 1頭	24カ月未満	種付						本牛出生																										

20 C S F等緊急防疫対策事業（拡充）

畜産振興課

C S F（豚熱）等の発生に備え、検査体制や初動防疫体制を整備するとともに、発生予防のためのワクチン接種を実施する。

1 事業内容

(1) 検査体制整備事業（継続）

C S Fに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等の検査を実施する。

- ・ 飼養豚におけるC S F浸潤状況検査
- ・ 捕獲野生イノシシからの検査材料の採取及びC S F等の検査

(2) まん延防止対策事業（拡充）

空港での靴底消毒や、発生時の円滑な防疫措置に向けた埋却演習を実施するとともに、養豚場におけるウイルス侵入防止対策を強化する。

- ・ 靴底消毒マットの設置・管理（県内2空港）
- ・ 埋却演習の実施、防疫演習動画記録の作成
- ・ 防鳥ネット・消毒噴霧器の整備（補助率：1／2以内）

(3) 予防ワクチン接種緊急対策事業（継続）

飼養豚での発生を予防するため、ワクチン接種を実施する。

- ・ ワクチン接種：約4万頭／月（50日齢以上）
- ・ 抗体検査：ワクチン接種後40日以上飼養豚（30頭／農場）

2 事業主体

県、市町村、市町村有害鳥獣対策協議会、養豚経営体

3 予算額

149,778千円	使用料及び手数料 173,880千円 国庫支出金 49,074千円 一般財源 △73,176千円
-----------	---

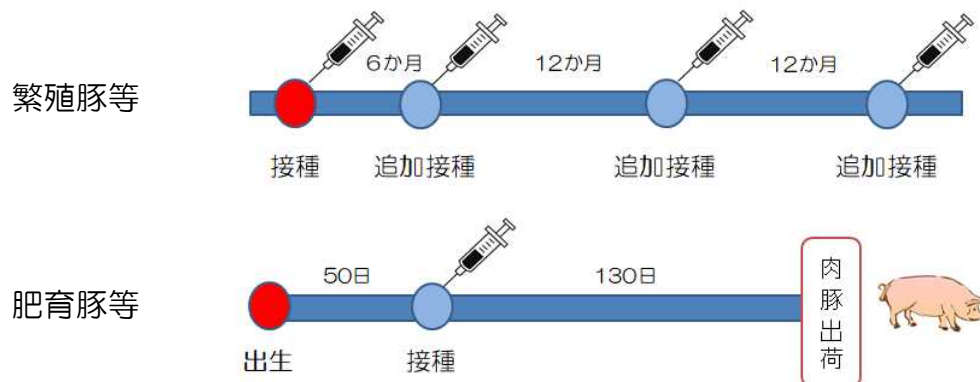
(1) : 2,112千円	需用費 1,512千円 負担金補助及び交付金 600千円
---------------	--

(2) : 6,239千円	需用費、役務費 1,020千円 委託料 1,969千円 負担金補助及び交付金 3,250千円
---------------	---

(3) : 141,427千円	報酬 18,193千円 旅費、需用費 123,234千円
-----------------	--

4 事業年度 令和元年度～

【参考1】CSFワクチンの接種方法（予防ワクチン接種）



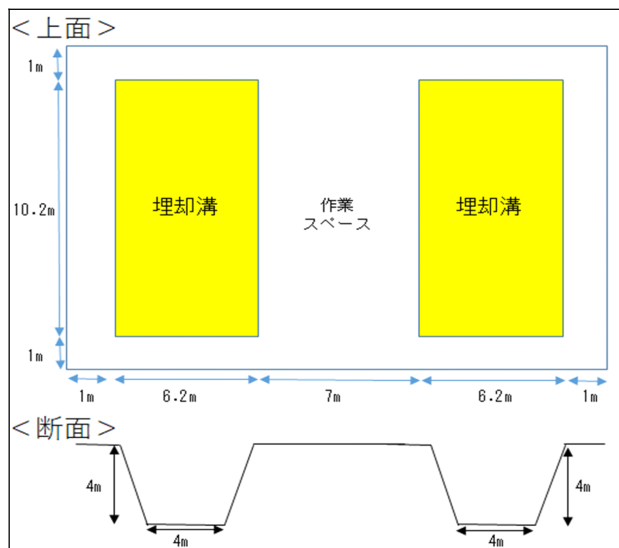
【参考2】CSFワクチンの接種スケジュール

	令和2年度			令和3年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初回接種 (27万8,000頭)	1/18開始														
2回目以降の接種															
抗体検査 (接種済豚)															

【参考3】埋却演習のイメージ



〔埋却溝の試掘及び埋却作業〕



〔埋却地設置基準 <10.2m×6.2m> 〕

21 農業農村整備事業（公共）

農山村振興課
農地整備課

農業の生産基盤の強化や農村地域の安全・安心の確保を図るため、ほ場整備や農業水利施設の整備等を実施する。

1 主な事業内容

(1) 経営体育成基盤整備事業

水田農業の効率化・複合化に不可欠な水田の大区画化・汎用化を図るため、区画整理を行うとともに、暗渠排水、用排水路、農道等を整備する。

- ・ 実施地区 秋田市金足西部地区ほか56地区
- ・ 予算額 9,511,230千円

(2) 基幹水利施設ストックマネジメント事業

老朽化した農業水利施設の長寿命化を図るため、補修・更新等を実施する。

- ・ 実施地区 湯沢市・羽後町深堀地区ほか19地区
- ・ 予算額 1,324,191千円

(3) 農村地域防災減災事業

老朽化したため池等の改修や地すべり防止対策工事等を実施する。

- ・ 実施地区 三種町長信田地区ほか58地区
- ・ 予算額 2,079,397千円

(4) その他

水利施設管理事業、水利施設整備事業等を実施する。

- ・ 予算額 1,959,084千円

2 事業主体

県、市町村、土地改良区等

3 予算額

14,873,902千円

分担金及び負担金	1,761,883千円
国庫支出金	7,704,079千円
諸収入	446,717千円
県債	3,831,900千円
一般財源	1,129,323千円

22 秋田の漁業人材育成総合対策事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水産漁港課

本県漁業を担う人材を確保・育成するため、「あきた漁業スクール」による各種研修や就業後のフォローアップなど総合的な支援を行う。

1 事業内容

(1) あきた漁業スクール管理運営事業

「あきた漁業スクール」に漁業担い手コーディネーターを配置し、就業希望者の掘り起こしや漁業経営体とのマッチング等を行う。

- ・ 実施内容 漁業就業に係る県内外でのPR活動、SNSによる情報発信等
相談窓口の設置、就業先の紹介・マッチング等

(2) 秋田の漁業担い手確保・育成事業

漁業に興味を持つ県内在住者を対象とした基礎的な研修や、就業希望者を対象とした実践的な研修を行う。

ア 秋田の漁業トライアル基本研修

- ・ 対象者 漁業未経験で就業に興味・関心がある県内在住者
- ・ 実施内容 スクールによる基礎的研修(男鹿市・にかほ市で地域別に2コース)
- ・ 研修期間 2週間
- ・ 予定人数 各コース3人(延べ6人)

イ 秋田の漁業スキルアップ実務研修(独立型)

- ・ 対象者 将来、独立・自営の漁業経営を目指す者
- ・ 実施内容 指導漁業士等による実践的研修
- ・ 研修期間 最長2年
- ・ 予定人数 新規2人、継続4人

ウ 秋田の漁業就業支援・フォローアップ

- ・ 対象者 乗組員として雇用された漁業就業者
- ・ 実施内容 雇用した企業的漁業経営体が行うOJT研修を支援
- ・ 研修期間 最長1年
- ・ 予定人数 新規3人、継続等3人
- ・ 補助率 定額(19万5,000円/月)

(3) ウェルカム秋田! 移住就業応援事業

県外から移住して漁業への就業を希望する者を対象に、基礎的研修や実践的な技術習得研修を行う。

ア 移住で漁業トライアル基本研修

- ・ 対象者 漁業未経験で就業に興味・関心がある県外在住者
- ・ 実施内容 スクールによる基礎的研修(男鹿市・にかほ市で地域別に2コース)
受講者の旅費・滞在費を支援
- ・ 研修期間 2週間程度
- ・ 予定人数 各コース2人(延べ4人)

イ 移住で漁業就業支援・フォローアップ

- ・ 対 象 者 県外から移住し、乗組員として雇用された漁業就業者
- ・ 実施内容 雇用した企業的漁業経営体が行うOJT研修を支援
- ・ 研修期間 最長1年
- ・ 予定人数 新規1人
- ・ 補 助 率 定額 (21万5,000円/月)

2 事業主体

(2)のウ、(3)のイ：企業的漁業経営体
上記以外：県

3 予算額

37,819千円 (繰入金：農林漁業振興臨時対策基金 37,819千円)

(1)：6,042千円 (旅費、需用費 476千円
委託料 5,566千円)

(2)：25,875千円 (委託料 15,838千円
負担金補助及び交付金 10,037千円)

(3)：5,902千円 (委託料 3,043千円
負担金補助及び交付金 2,859千円)

4 事業年度

令和元年度～

【参考】事業実施のイメージ



23 未来につなぐ豊かな海づくり推進事業（拡充）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水産漁港課

県産水産物のブランド化に向けた鮮度保持や加工、オンライン販売等の取組を支援するほか、高品質化や安定出荷に向けた蓄養殖の実証試験を行う。

1 事業内容

(1) 秋田の地魚消費拡大事業（継続）

県産水産物の認知度向上と消費拡大を図るため、スーパーマーケットとの連携による魚料理レシピの配布等を行う。

- ・ 「秋田のさかなを食べようキャンペーン」等の実施（4回）

(2) ブランド水産物創出支援事業（継続）

県産水産物のブランド化を推進するため、品質向上や未利用魚の高付加価値化に向けた取組を支援するほか、漁業者や加工業者の販路開拓等をサポートする。

ア 水産物利活用支援事業

- ・ 対 象 者 漁業者、漁協等（3件）
- ・ 助成対象 ハード：鮮度保持装置、加工機器等
ソフト：試作品開発、成分分析、マーケティング等
- ・ 補 助 率 ハード：1／3以内、ソフト：定額（上限50万円）

イ 秋田の地魚ブランディング事業

- ・ 水産物コーディネーターによる販路開拓等のサポートの実施

(3) 秋田版もうかる蓄養殖推進事業（継続）

魚介類の品質向上や安定出荷、価格向上に向け、漁港内において蓄養殖試験を実施する。

- ・ ブリ、カワハギ等における給餌飼育の有効性の検証

(4) 水産物オンライン販売支援事業（新規）

漁業者の所得向上を図るため、漁業者による鮮度の高い魚介類などのオンライン販売を支援する。

ア オンライン販売支援

- ・ 対 象 者 漁業者等（3件）
- ・ 助成対象 冷蔵設備、給排水設備、広告経費等
- ・ 補 助 率 1／2以内（上限100万円）

イ 講演会の実施

- ・ 事例報告、必要な許認可手続き、衛生管理

2 事業主体

- (1) : 県、秋田の地魚消費拡大協議会
- (2)のア : 漁業者グループ、漁協等
- (2)のイ、(3) : 県
- (4) : 漁業者等

3 予算額

14,191千円

繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	13,445千円
諸収入	7千円
一般財源	739千円

(1)：739千円

旅費、需用費等	639千円
負担金補助及び交付金	100千円

(2)：5,729千円

報酬、旅費等	3,229千円
負担金補助及び交付金	2,500千円

(3)：3,701千円

旅費、需用費	101千円
委託料	3,600千円

(4)：4,022千円

報償費、旅費等	1,022千円
負担金補助及び交付金	3,000千円

4 事業年度

令和2～6年度

【参考】事業実施のイメージ



〔秋田のさかなを食べようキャンペーン〕



〔高付加価値化（マダイの加工品）〕



〔蓄養殖試験（ブリ）〕



〔オンライン販売〕

24 ウッドファーストあきた推進事業（継続）

林業木材産業課

林業・木材産業の成長産業化に向けて、木材を優先利用する「ウッドファースト」を推進するとともに、住宅での県産材の需要拡大を図る。

1 事業内容

(1) ウッドファーストあきた県民運動推進事業

木造・木質化のモデルとなる優れた建築物を表彰し、県民や建築関係者等に対して広く優良建築物を紹介することで、木材の優先利用の普及啓発を図る。

(2) ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業

県内の住宅における県産材利用を促進するため、秋田スギ等を利用した住宅を建築する工務店グループ等に対して支援する。

- ・ 対 象 者 県と協定を締結した工務店グループ等
- ・ 助成対象 (ア) 県産構造材等の利用率向上及び内装への県産材利用等(400戸)
(イ) 完成内覧会等の普及PR活動等(20件)
- ・ 補 助 率 (ア) 定額(15万円/戸)
(イ) 定額(15万円/件)

2 事業主体

- (1) : 県
(2) : 県、工務店グループ等

3 予算額

68,517千円 (一般財源 68,517千円)

(1) : 117千円 (旅費、需用費等 117千円)

(2) : 68, 400千円

旅費、需用費等	600千円
委託料	4, 800千円
負担金補助及び交付金	63, 000千円

4 事業年度

平成26年度～

25 非住宅分野における県産材需要拡大事業（継続）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

林業木材産業課

住宅以外の建築物における木造・木質化を促進し、県産材の需要拡大を図るため、都市部とのネットワークの構築や中高層建築物に使用可能な木質部材の開発に取り組むとともに、県内における建築設計人材の育成等を実施する。

1 事業内容

(1) 都市で広がる秋田の木づかい推進事業

都市木造における県産材の需要開拓に必要な都市部とのネットワークの構築を図るほか、中高層建築物に利用可能な木質耐火部材の開発を行う。

ア 都市木造マッチング推進事業

- ・ 実施内容 産学官で構成する会議の開催や、都市部でのPR活動、訪問等による県産材の需要開拓活動等

イ 木質耐火部材開発事業

- ・ 実施内容 中高層建築物で利用可能な木質2時間耐火部材の開発

(2) あきた木造建築促進事業

県内の非住宅建築物の木造・木質化を促進するため、建築主の意識醸成や建築人材の育成を図る。

ア 木造建築普及啓発事業

- ・ 実施内容 建築主となり得る事業者等を対象としたセミナーの開催（1回）
- ・ 対象者 企業経営者、木材産業関係企業、市町村ほか

イ 木造技術者育成事業

- ・ 実施内容 木材利用を提案できる建築士等を育成するための研修の開催（6回）
木造建築物の設計技術助言を行う技術アドバイザーの配置
建築を学ぶ学生を対象とした木材利用コンクールの開催
- ・ 対象者 一級建築士等の技術者、学生等

ウ 木造設計支援事業

- ・ 実施内容 非住宅建築物の木造設計を行う設計者等の取組に対する支援（2件）
- ・ 対象者 県内の建築士事務所等
- ・ 補助額 上限100万円

(3) ウッドレガシー活用事業

東京オリンピック・パラリンピック大会の選手村ビレッジプラザに利用された県産材を用いた木製品を製作し、公共施設に設置する。

- ・ スケジュール 令和3年 選手村ビレッジプラザ解体後の木製品の製作公募
令和4年 木製品製作、公共施設への設置（債務負担行為設定）
- ・ 債務負担行為限度額 630万円

2 事業主体

(2)のウ：県内の建築士事務所等

上記以外：県

3 予算額

24,965千円

繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	17,050千円
森林環境譲与税基金	5,715千円
一般財源	2,200千円

(1)：19,102千円

報償費、旅費等	2,052千円
委託料	17,050千円

(2)：5,663千円

報償費、旅費等	313千円
委託料	3,350千円
負担金補助及び交付金	2,000千円

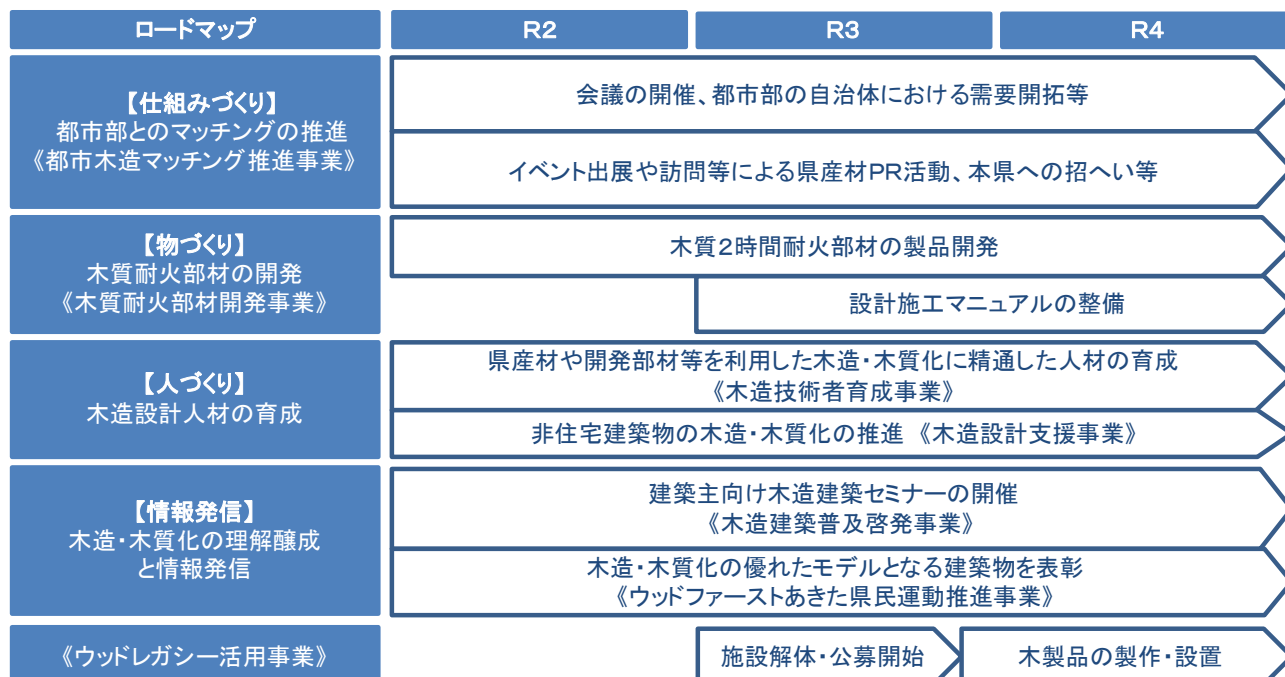
(3)：200千円

旅費、需用費等	200千円
---------	-------

4 事業年度

令和2～4年度

【参考】非住宅分野における県産材需要拡大に向けた取組のロードマップ



26 あきた材販路拡大事業（新規）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

林業木材産業課

県産材の販路拡大を図るため、県外において県産材を利用する工務店等の開拓を進める。

1 事業内容

(1) あきた材パートナー登録・サポート

- ・ 実施内容 「あきた材パートナー」への登録促進活動、県内工場とのマッチング支援等
- ・ 対象者 県外工務店等

(2) 県産材を一定量以上利用した住宅等の建築に対する助成

- ・ 対象者 あきた材パートナー登録を行った工務店等
- ・ 助成対象 構造材、内装等への県産材利用（県外250件）
- ・ 補助率 定額（5万円／件）

2 事業主体

- (1)：県
- (2)：工務店等

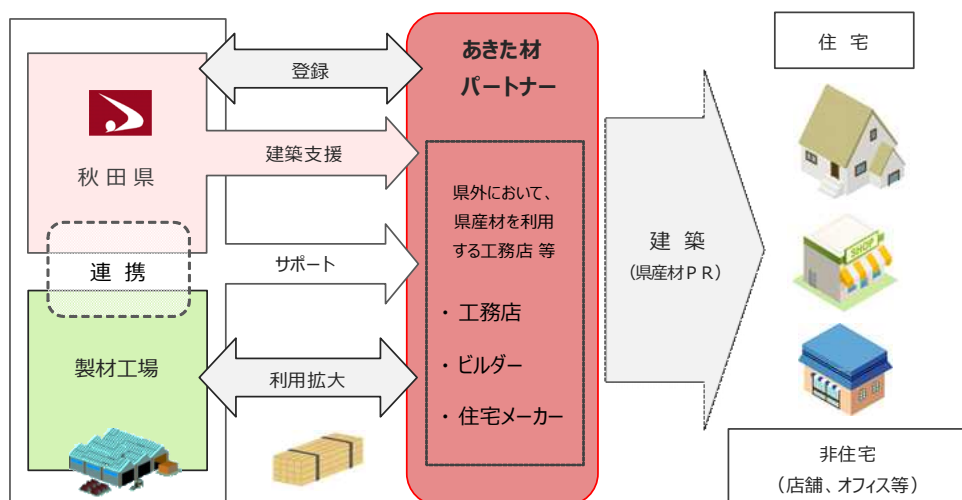
3 予算額

13,739千円	（ 繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	13,739千円 ）
	（ 旅費、需用費等	1,239千円 ）
	負担金補助及び交付金	12,500千円 ）

4 事業年度

令和3～5年度

【参考】事業のイメージ



27 次代につなぐ再造林促進対策事業（拡充）

林業木材産業課

森林資源の循環利用を図るため、低コストな造林技術の開発・普及を進めるとともに、林業経営体の施業の低コスト化に向けた取組を支援し、再造林を促進する。

1 事業内容

(1) 再造林普及推進事業（継続）

地域の課題や対策を検討するための地域協議会や低コストな造林技術を普及するための研修会を開催する。

(2) 再造林定着促進事業（継続）

森林施業の集約化や新たな低コスト造林技術の導入により、再造林を実施する林業経営体を支援する。

- ・ 対 象 者 林業経営体
- ・ 助成対象 低コスト化による再造林等の実施（25ha）
- ・ 補 助 率 定額（15万円／ha）

(3) 先進的造林技術実践事業（新規）

下刈り等の省力化に向け、先進的な造林技術を実践する場を県有林（秋田市太平）に設けるとともに、林業経営体や森林所有者向けの低コスト再造林技術の導入指針を作成する。

2 事業主体

(1)、(3)：県

(2)：林業経営体

3 予算額

5,350千円 （一般財源 5,350千円）

(1)：100千円 （需用費 100千円）

(2)：3,750千円 （負担金補助及び交付金 3,750千円）

(3)：1,500千円 （需用費 375千円
委託料 1,125千円）

4 事業年度

令和元～3年度

【参考】事業執行予算（予定）

単位：ha、千円

事業名	R 2 繰越		R 3 当初		合計	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
再造林定着促進事業	180	27,000	25	3,750	205	30,750

28 秋田県水と緑の森づくり税事業（継続）

森林整備課

地球温暖化の防止や県土の保全、水源のかん養等の公益的機能を有する秋田の森林を守り育て、次代に引き継いでいくため、森林環境保全のための森づくりを行うとともに、県民参加の森づくり活動や森林環境教育等を推進する。

1 事業内容

(1) 秋田県水と緑の森づくり事業（ハード事業）

単位：千円

事業名	事業内容	事業量	事業費
ア 豊かな里山林整備事業	・生育の思わしくないスギ人工林等の広葉樹との混交林への誘導 ・放牧跡地等の広葉樹の再生 ・クマ等の出没抑制のための緩衝帯整備や、道路沿い等の過密化した森林の保全・景観対策	77ha 12ha 169ha	131,819
イ マツ林・ナラ林等景観向上事業	・松くい虫被害やナラ枯れ等の枯死木処理による森林の景観向上・健全化	マツ 5,000m ³ ナラ 4,000m ³	151,576
ウ 森や木とのふれあい空間整備事業	・県民が気軽に森とふれあえる森林公園等を整備 ・公共施設等での木育体験空間の整備	11か所 2か所	158,077
計			441,472

(2) 秋田県水と緑の森づくり推進事業（ソフト事業）

単位：千円

事業名	事業内容	事業量	事業費
ア 県民参加の森づくり事業	・森林ボランティア活動支援 ボランティアによる森づくり活動 ・森づくり県民提案 自治会等が自ら提案・実行する森づくり活動 ・市町村等の森づくり活動支援 市町村等による森づくり活動や普及啓発活動	27件 25件 16件	35,308
イ 森林環境教育推進事業	・児童生徒等を対象にした森林環境学習や木育活動 ・環境教育等の指導者養成 ・林業大学校での人材の育成	49件 90人 34人	15,443

単位：千円

事業名	事業内容	事業量	事業費
ウ 普及啓発事業	・ 森林祭など県民参加イベントの開催 ・ あきた森づくり活動サポートセンターの運営等 ・ 基金運営委員会の開催 ・ 県民アンケートの実施 ・ 事業に関する調査・研究	—	30,610
計			81,361

2 事業主体

- (1) : 県、市町村、森林組合、林業事業体等
 (2)のア：森林ボランティア団体、市町村、自治会等
 (2)のイ：小中学校、幼稚園・保育所、市町村等
 (2)のウ：県

3 予算額

522,833千円 (繰入金：水と緑の森づくり基金 522,833千円)

(1) : 441,472千円

旅費、需用費等	2,591千円
委託料	12,761千円
工事請負費	2,500千円
負担金補助及び交付金	423,620千円

(2) : 81,361千円

報酬、報償費、旅費等	13,677千円
委託料	19,572千円
負担金補助及び交付金	48,112千円

4 事業年度

平成30年度～令和4年度

29 秋田スギ生産基盤づくり事業（拡充）

森林整備課

林業生産コストの低減と原木の安定供給を図るため、スギ人工林の成熟度が高く関係者の意欲が高い地域において、10 t 程度のトラックが走行できる「林業専用道（規格相当）」を整備する。

1 事業内容

(1) 路網整備事業（県営）（継続）

- ・ 対象地区 「高能率生産団地」設定地区
- ・ 実施地区 生手沢線（鹿角市）ほか1路線（整備延長1,600m）
- ・ 負担割合 国 : 路線毎の平均横断地山勾配に応じた定額助成
15度未満 上限23,000円/m
15度以上25度未満 上限25,000円/m
25度以上 上限27,000円/m
県 : 国の上限助成額を超えた事業費の負担
上限事業費37,000円/m

(2) 路網整備事業（補助営）（新規）

- ・ 対象地区 「高能率生産団地」と同様の資源状況にある地区
- ・ 実施地区 関ノ沢線（北秋田市）ほか1路線（整備延長2,100m）
- ・ 負担割合 国 : (1)と同じ定額助成
県 : 国の上限助成額を超えた事業費の負担
上限助成額2,500円/m
市町村 : 国及び県の上限助成額を超えた事業費の負担

2 事業主体

(1) : 県

(2) : 市町村

3 予算額

116,830千円

国庫支出金	92,500千円
一般財源	24,330千円

(1) : 59,080千円

委託料	7,205千円
工事請負費	51,875千円

(2) : 57,750千円

負担金補助及び交付金	57,750千円
------------	----------

4 事業年度

令和2～4年度

30 森林整備事業及び治山事業（公共）

林業木材産業課
森 林 整 備 課

森林の多面的機能の発揮を図りつつ資源の循環利用に資するため、路網整備による生産基盤の強化と間伐等の森林整備を推進するとともに、山地災害等の防止・軽減に向けて計画的に治山対策を推進する。

1 事業内容

(1) 森林整備事業

ア 造林補助事業

多面的機能が十分に発揮できる森林を育成するため、植栽や下刈、間伐等の森林整備を実施する。

- ・ 実施地区 鹿角市花輪地区ほか7地区（間伐等3,464ha）
- ・ 予算額 1,900,118千円

イ 林道事業

森林の適切な整備及び保全を図るとともに、効率的な林業経営や山村地域の活性化に資するため、林道等の整備を実施する。

- ・ 実施地区 美郷町七滝山線ほか13路線（整備延長5,298m）、林道改良等整備15地区
- ・ 予算額 808,690千円

(2) 治山事業

山地災害から県民の生命・財産を守るとともに森林の保全を図るため、治山施設の整備や荒廃山地の復旧等を実施する。

- ・ 実施地区 鹿角市十和田瀬田石字上石野地区ほか63地区
- ・ 予算額 1,969,925千円

(3) 災害関連緊急治山等事業ほか4事業

災害により新たに発生又は拡大した荒廃山地や被災した治山施設、林道の復旧工事等を実施する。

- ・ 予算額 560,981千円

2 事業主体

(1)のア : 県、市町村、森林組合等

(1)のイ、(3) : 県、市町村

(2) : 県

3 予算額

5,239,714千円

分担金及び負担金	78,400千円
国庫支出金	3,081,899千円
県債	1,341,900千円
一般財源	737,515千円